

事務事業評価（25年度 実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	★ 実施計画事	事務事業名	事業の目的	H25 事業概要	H25 事業実績	H25決算 見込額	活動指標名 (業務量の指標)	単位	H25 目標	H25 実績	事業の 進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合 判定	判定理由	事業の 方向性	
153	健康福祉部	地域福祉課	03	01	09	★	重度障害者(児)医療費助成事業	心身障害者の医療費を助成し、経済的負担を軽減する。	身体障害者手帳1.2級、療育手帳A、精神保健福祉手帳1級、特別児童扶養手当1級、身体障害者手帳内部障害3級所持者の保険診療分の医療費を助成する。	助成金額145,589,810円(補助金47,073,674円) 事務手数料4,631,346円(補助金1,913,033円)	150766	助成件数	件	30000	31121	A	A	A	B	A	A	重度障害者(児)に対する医療費助成は必要不可欠であると考えられるため。今後も増大していくと予想される。	継続	
155	健康福祉部	地域福祉課	03	01	09		身体障害者福祉事務費	身体障害者の福祉向上のための事業を行う。	①身体障害者相談員設置 ②湖西市身体障害者福祉協会への補助	①身体障害者相談員8人 ②湖西市身体障害者福祉協会補助金482,000円	685	相談件数	件	430	435	A	B	B	B	B	B	障害のある方に対する相談業務は必要不可欠であると考えられるため。	継続	
156	健康福祉部	地域福祉課	03	01	09	★	心身障害者福祉費	心身障害者の福祉向上のための事業を行う。	①心身障害者扶養共済掛金の1/4を助成。 ②心身障害者扶養共済給付金支給	①掛金2,492,000円(利用者負担金1,948,380円) ②給付金5,520,000円(歳入5,520,000円)	8033	給付者数	人	14	12	A	A	A	B	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えられるため。	継続	
157	健康福祉部	地域福祉課	03	01	09		特別児童扶養手当	障害児の保護者の経済的負担を軽減する。	特別児童扶養手当給付の事務処理。給付は県が直接支払。	事務処理対象児童数141人	132	給付者数	人	140	141	A	A	A	A	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えられるため。	継続	
158	健康福祉部	地域福祉課	03	01	09		重度心身障害者タクシー料金助成事業	重度心身障害者の通院等に係るタクシー料金を助成し、経済的負担を軽減する。	タクシーの初乗り料金を助成する。(タクシー券24枚綴り/年)	タクシー券交付者102人	912	交付者数	人	100	102	A	B	B	B	B	B	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えられるため。	継続	
159	健康福祉部	地域福祉課	03	01	09		特別障害者手当等給付事業	重度心身障害者(児)の経済的負担を軽減する。	①重度心身障害者に特別障害者手当を支給する。 ②重度心身障害児に障害児福祉手当を支給する。 ③障害者に経過福祉手当を支給する。	①給付件数379件 ②給付件数375件 ③給付件数12件	15444	給付件数	件	750	766	A	A	A	A	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えられるため。	継続	
160	健康福祉部	地域福祉課	03	01	09		湖西市児童手当	障害児及び遺児の保護者の経済的負担を軽減する。	特別児童扶養手当受給者に月額2,000円の手当を支給する。	対象児童147人	3380	給付者数	人	140	147	A	B	B	B	B	B	障害児に対する助成は必要不可欠であると考えられるため。	継続	
161	健康福祉部	地域福祉課	03	01	09		知的障害者援護事業	知的障害者の福祉向上のための事業を行う。	①知的障害者相談員設置 ②湖西市手をつなぐ育成会への補助	①知的障害者相談員2人 ②湖西市手をつなぐ育成会補助金486,000円	535	相談件数	件	200	199	A	B	B	B	B	B	障害のある方に対する相談業務は必要不可欠であると考えられるため。	継続	
162	健康福祉部	地域福祉課	03	01	09		精神障害者福祉費	精神障害者の福祉向上のための事業を行う。	精神保健福祉会さざなみ会への補助金	精神保健福祉会さざなみ会148,000円	209	-	-	-	-	B	B	B	B	B	B	障害者団体の活動に対する補助は必要不可欠であると考えられるため。	継続	
163	健康福祉部	地域福祉課	03	01	09		精神障害者医療費等助成事業	精神障害者及び保護者の経済的負担を軽減する。	①精神障害者の入院費用(上限12,000円/月)の一部を助成する。 ②精神障害者の通院等の交通費(6,000円/年)を助成する。	①助成対象者58人 ②助成対象者44人	5168	助成者数	人	110	102	A	A	A	A	B	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えられるため。	継続	
165	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		自立支援給付関係経費	障害者の支援	障害程度区分認定審査会、医師意見書手数料、障害福祉システム改修等障害者総合支援法に係る事務経費	障害程度区分認定審査会委員報酬251,000円 医師意見書手数料747,600円 障害福祉システム改修等委託6,238,008円 等	10310	-	-	-	-	A	A	A	A	A	A	障害者福祉に関する事務経費として必要不可欠である。	継続	
167	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10	★	コミュニケーション支援事業	意思疎通が必要な障害者の支援	コミュニケーションに障害のある方に手話通訳者、要約筆記者を派遣し、窓口到手話専門員を設置し聴覚障害者を支援する。	手話通訳者派遣1,657,242円 要約筆記者派遣210,145円 手話専門員設置2,130,716円	4117	手話通訳者・要約筆記者派遣回数	回	240	236	A	A	A	B	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えられるため。	継続	
168	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		移動支援事業	移動に介助が必要な障害者の支援	移動に介助が必要な障害者にヘルパーを派遣し移動を支援する。	利用者9人 1,083,056円	1083	利用者数	人	10	9	A	A	A	A	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えられるため。	継続	
169	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		日中一時支援事業	障害者の日中の居場所の支援	障害者を日中に預かることにより、介護者の負担を軽減する。	利用者25人 1,594,830円	1595	利用者数	人	26	25	A	A	A	A	A	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えられるため。	継続
170	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		地域活動支援センター事業	障害者の活動の場の支援			42	利用者数	人	4	5	A	A	A	A	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えられるため。	継続	

事務事業評価（25年度 実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業★	事務事業名	事業の目的	H25 事業概要	H25 事業実績	H25決算 見込額	活動指標名 (業務量の指標)	単位	H25 目標	H25 実績	事業の 進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合 判定	判定理由	事業の 方向性	
171	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		日常生活用具給付事業	障害者の日常生活のための用具の支援	障害者の日常生活を支援するための用具を給付する。	ストマ要装具ほか 340人 11,322,308円	11322	給付件数	件	1100	1164	A	A	A	A	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えたため。	継続	
172	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		身障者車免許取得費及び身障者車改造費助成事業	障害者の社会参加等の支援	障害者の社会参加等の支援のため低所得の障害者の免許取得費用、自動車改造費用を助成する。(上限100,000円)	自動車改造 200,000円	200	助成者数	人	1	2	A	A	B	A	B	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えたため。	継続	
173	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		身体障害者入浴サービス事業	障害者の入浴の支援	自宅での入浴が困難な障害者に入浴車を派遣し、入浴サービスを行う。	利用者4人 2,335,750円	2336	利用者数	人	5	3	A	A	A	A	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えたため。	継続	
174	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		身体障害者施設入浴サービス事業	障害者の入浴の支援	自宅での入浴が困難な障害者に施設での入浴サービスを行う。	利用2人 1,487,400円	1487	利用者数	人	2	2	A	B	B	B	B	B	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えたため。	継続	
175	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		相談支援事業	障害者の相談支援	障害者等の相談に応じ、障害者の生活、自立を支援する。精神障害者相談支援を委託。障害児者相談員を設置。	精神障害者相談支援事業委託7,400,000円 障害児者相談員設置625,000円	8025	相談件数	件	1200	1419	A	A	A	A	A	A	A	障害のある方に対する相談業務は必要不可欠であると考えたため。	継続
176	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		手話奉仕員等育成事業	手話通訳者の育成	手話通訳者を育成するため手話奉仕員養成講座を実施し底辺の拡大を図る。(奉仕員養成講座を修了しないと手話通訳者養成講座を受けられない。)	手話奉仕員養成講座入門課程、基礎課程を実施 講師料636,000円	658	受講者数	人	20	26	A	A	A	A	A	A	A	聴覚障害者の方を支援する手話奉仕員を育成する事業を実施することは重要であると考えたため。	継続
177	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10	★	介護・訓練等給付費	障害者の障害福祉サービスの利用支援	障害福祉サービス(ヘルパー利用、施設入所通所、就労支援等)、障害児通所支援の支給。H25年度より、障害福祉サービス支給と障害児通所支援の事業を分けた。	障害福祉サービス506,969,660円	512764	利用者数	人	4000	4025	A	A	A	A	A	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えたため。	継続
178	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		自立支援医療費	障害者の自立更生のための医療費支援	障害の程度を軽くしたり、取り除いたりして日常生活を容易にするための医療費を助成する。	利用者44人 9,008,880円	10367	助成人数	人	40	44	A	A	A	A	A	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えたため。	継続
179	健康福祉部	地域福祉課	03	01	10		補装具給付費	障害者の支援	身体の不自由な部分を補って、日常生活や職業生活を容易にするため、義肢、補聴器などの補装具の購入費を助成する。	利用者95人 7,750,476円	7806	給付件数	件	80	87	A	A	A	A	A	A	A	障害のある方に対する助成は必要不可欠であると考えたため。	継続